

地区広報 芸術の森

題字 平澤 博

第6号

平成18年9月29日

発行 地区広報・芸術の森
編集委員会

印刷 (株) 辻孔版社

『“美しい自然、美しい街” 時を超えて守っていきたい』

これが私たちの願いです。

芸術の森地区町内会連合会 環境衛生部長 堀川昭八

私たち環境衛生部は、当地区内における環境整備事業、環境衛生事業、保健衛生活動等の推進、更には健康づくり運動などまで、幅広い業務を担当しています。

各単位町内会の関連専門部の皆さんとは、「南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会」(南区内の各連町内単位の地区委員会で構成)の各推進員としての意見交換や研修行事等が主な接点となっています。

当町内会連合会では、一昨年に行なわれたワークショップの結果をふまえてごみ対策の重要性がとり上げられ、今年度見直しされた「まちづくりビジョン」の中でも「ごみの不法投棄対処」があげられました。近年市が検討しているごみ収集の有料化問題もあり、当部として今年度は、

- ① ごみの不法投棄防止策
- ② 生ごみ減らし対策

を重点的に取り組むことにいたしました。

『街の環境を守るのはあなたです』

すでに別記推進員による現地調査と記録、これをふまえた全推進員による検討会議、減量化の勉強会、更には各単町毎による研修会、勉強会、出前講座なども進められ、11月上旬頃に具体的活動を予定しています。

これらの対策、そして活動によりある程度の実現を

みてももうこれでよいということはありません。一部町内会では、ごみ対策について年度計画にとりあげて対処されていることも聞いております。

しかし、主要幹線ばかりでなく、日頃私たちが誇りに思っている“木漏れ日の里”の散策路などまで空き缶やペットボトル、タバコの吸いがらが散乱、大型不法投棄物も残念ながら後を絶ちません。きれいな街で暮せることができます私たちの願いです。

次世代を担う子どもたちのためにも、みんなでできることからはじめてみようではありませんか。

『“自分のこと”としてできることから』

不法投棄についてはボランティア監視員制度を、生ごみ減量化については普及啓発チームの立ち上げなども考えのなかにありますが、私たちは「できることから…」の心つもりでおります。

これまでの施策あるいは今後のことでご意見などありましたら、関係推進員、まちづくりセンターまでお寄せいただきたいと思っております。

安全・安心の街づくりのためにも、是非『ごみ対策』を“自分のこと”として取り組まれるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

平成18年度

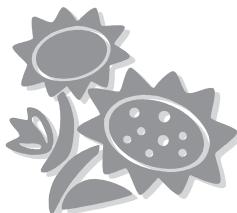
■南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会芸術の森地区委員会

クリーン役職名	氏名	町内会役職名	クリーン役職名	氏名	町内会役職名
会長 (地域推進員)	堀川 昭八	石山東町内会会長	委 員	高橋 弘	駒岡団町内会衛生推進員
副 会 長	辻 一夫	見晴町内会環境部長	委 員	山屋 忠意	石山東町内会 環境衛生部長・防犯防災部長
委 員	横山 圭子	常盤一区町内会福祉保健部長			

■芸術の森地区クリーンさっぽろ衛生推進委員会

委員名	氏名	町内会役職名	委員名	氏名	町内会役職名
衛生推進員	堀川 昭八	石山東町内会 (地区委員会会長)	"	西垣 勝由	アートパークタウン町内会 生活環境担当
"	辻 一夫	見晴町内会環境部長 (地区委員会副会長)	"	若松 禮吉	サンブライド町内会 衛生推進員
"	山屋 忠意	石山東町内会 環境衛生部長・防犯防災部長(地区委員)	"	東 良和	常盤二区町内会事業部長
"	寺田 利夫	石山八区町内会副会長	"	軽部 幹夫	滝野町内会衛生部長
"	阿部 信行	常盤団地町内会環境衛生部長	"	田中 勝雄	真駒内三団町内会会長
"	定池 教章	常盤台町内会会長	"	菅原 一郎	真駒内二団町内会会長
"	横山 圭子	常盤一区町内会 福祉保健部長(地区委員)	"	川北 秀雄	駒岡町内会衛生推進員
"	菅江優美子	常盤一区町内会 福祉保健部副部長	"	高橋 弘	駒岡団地町内会衛生推進員 (地区委員)
"	浅野 正敏	アートパークタウン町内会 生活環境担当			

2006芸術の森地区町内会連合会女性部主催研修会のご案内



芸術の森地区にお住まいの皆様

いま、何故ごみ減量化が必要か

- 日 時 10月24日(火) 14:00~15:30
- 場 所 芸術の森地区まちづくりセンター 2階
(南区石山東7丁目1-31、TEL 592-7009)
- テー マ 「今、何故ごみ減量化が必要か」
～市発行 ダイエットマガジンの記載内容についての解説他～
- 講 師 札幌市環境局ごみ減量推進課 課長 藤田 哲男 氏

お話をあと、質問の時間もあります。

日ごろ、気になっていることを、聞いてみましょう。

たくさんの方！来てください。



年間のごみ処理費用は？

札幌の埋立地の寿命は あと〇ねん？ 有料化は？ 不法投棄は？

第12回 芸術の森地区文化祭

芸術の森地区町内会連合会では、展示作品を募集しています

開催日時：平成18年11月2日（木）10時～17時

3日（金）10時～15時

開催場所：芸術の森地区会館（南区石山東7丁目1番31号 TEL592-7144）

展示作品募集

絵画、書道、木彫り、陶芸、写真、文芸、生け花、手芸品、盆栽、その他

・搬入開始／10月24日（火）・搬入締切り／10月31日（火）15時

なお、出展者は、文化祭出展作品表を芸術の森地区まちづくりセンターに用意してありますので、作品に貼ってください。

<展示作品撤去・搬出> 11月3日（木）15時～15時30分まで

第11回 芸術の森地区音楽祭

…多数の方の参加で盛り上げましょう…

皆様のご来場をお待ちしております。

とき 平成18年11月19日（日） 開場 13:00
開演 13:30～16:00（予定）

ところ 札幌芸術の森アートホール

入場料と出演料 無料

主 催 芸術の森地区町内会連合会
財団法人 札幌市芸術文化財団 芸術の森事業部

主 管 常盤中学校区青少年健全育成推進会

**文化
マップ**

人物編

信州の桜の開花を追って! (撮影の旅)

常盤一区町内会(写真) 安部 俊雄

いつも航空券・ホテルの予約は、間際になると安いのが無くなるので早めに計画する事にしています。

信州の桜は平年4月10日～20日の間に満開を迎えるが予測は大変難しいため、3月の気象台の発表を信じ、12～15日をセットしました。ところが4月に入ってから信州にも雪が降り蕾の成長は遅れだして、開花予想も大幅に遅れました。しかし、予定の変更は困難で、不安を抱いての出発でした。小諸の開花はその気配も無いのでカットし、近くの真田昌幸が1583年に築城した「上田城」を訪ねたが3分咲きでした。杏が終わると桜になるとと言われる更埴市(合併後の千曲市)の「あんずの里」を訪ねましたが、数本開花しているだ

けで、ここも期待は見事に外れました。

次の日に姨捨山の伝説で知られる里を訪ねました。千曲川の北斜面の山裾は、南向きの見渡す限り「棚田」が続く里でした。ここは棚田に写った月をみて詩を読んだ「月見の里」でもあります。主な目標だった伊那谷の要所に南北朝時代に築城された信玄ゆかりの「高遠城」を訪ねました。1,500本の小彼岸桜は、まだ3分咲きで来年も挑戦しようかと心残りです。大奥で大年寄だった絵島が28年間幽閉されていた囲い屋敷を見てから帰りました。今回の旅は、松本城のお堀端の桜が満開だったので連日撮影できたのが最高の収穫でした。



上田城西櫓のしだれ桜



国宝松本城



名月の里姨捨棚田



あんずの里



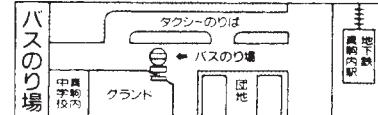
高遠城と小彼岸桜

無料

見学・墓参バス運行中

時間

午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



真駒内滝野霊園

札幌市許認可霊園

お問い合わせ・
お申込みは **真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223** 代表

文化

マップ

人物編

“俳句と私”

常盤団地町内会（俳句）斎藤 善四郎

こんごう つゆ
金剛の露ひとつぶや石の上 ぼうしや
茅舎

「金剛不壞という言葉がある如く、その物の存在を極めて明らかに意識した時に用いる言葉である。ただ一滴の露であるけれどもそれは何物にも侵されず。何物にも煩はされず厳として存在して居る。さういった心持を作者は言はんと欲したのであろう」と虚子の評がある。

川端茅舎の代表作のひとつ、一粒の露の玉を見発見するところから「徹底写生」の俳句ははじまる。

この作の原型は

石の上一つぶの露の玉光る
と茅舎自身がいう。「之じゃ全くいつも当然に石の上に露の玉が乗っている説明になつて了つて不可得の不思議もないよう駄目」とは茅舎自身の言。発見したあと、刻苦彫琢の枝（文章を磨くこと、表現力）が、どれほど大切なかも教えられる。

秋田象潟、東京西多摩、北海道日高、札幌常盤と詠い続けて50年未だ納得の行く一句を詠うことが出来ない。終の地の常盤では是非これを実現し、私を育てくれた恩師福田汀に報いたいと思うこの頃である。

芸術の森

か 声涸らし鳴く鴉をり大枯野	螢光
野紺菊石を重ねし馬の墓	“
蛇泳ぐ沼の水尾あと風が消す	“
石の上蜥蜴交みて蝦夷地晴	“
銀魂の月霧氷林白珊瑚	“
空蝉の背の一割れや樹に縋る	“
蝦夷春蟬鳴き終へ腹を縮めけり	“

高齢者クラブ紹介

②

みんながそれぞれ楽しめる会をめざして

常盤常生会 会長 松林 宏

人誰しも、好き嫌いや得意不得手があるものです。

当会は、多くの人がそれぞれ何かに参加できるように、行事、会、サークル活動の種目を大幅に増やし、昨年度から試行しています。

特長は、①殆ど毎日何らかの活動を行っている ②正会員（札幌市に登録）以外に、好きな1つのサークルのみに加入できるサークル会員制（年齢制限なし）を導入している ③月2回の例会には、脳を活性化させる勉強会を行っていることです。

ここで、月間スケジュールの例をご紹介します。

	第一	第二	第三	第四
日曜	公園清掃	例会 勉強会	公園清掃	例会 勉強会
月曜	カラオケ クラブ	卓球と スロット	カラオケ クラブ	卓球と スロット
火曜	舞踊教室	舞踊教室	舞踊教室	舞踊教室
水曜	健康体操 の会	健康体操 の会	健康体操 の会	健康体操 の会
木曜	映画鑑賞会	童謡唱歌 合唱会	映画鑑賞会	童謡唱歌 合唱会
金曜	卓球と スロット	パーク ゴルフ	卓球と スロット	パーク ゴルフ
土曜	歩く会 芸術の森	歩く会 石山緑地	歩く会 芸術の森	歩く会 保養駒岡

他に不定期で、旅行会（年2回）、野外ジンギスカン、よもぎもちを搗いて食べる会、いも団子を作り食べる会、ケーキでクリスマス会などを行っています。

また、札幌市老連演芸まつり、南区老連輪投げ大会、南区老連演芸まつり、第7ブロックふれあいの集い、常盤団地町内会文化祭などに出演しています。

く何よりも、当会員が精神的にも肉体的にも

常に健康な状態で、長生きすることを目的としています



常生会舞踊部の町内会行事における舞踊の発表

遊び心の遊俱楽部

遊俱楽部（常盤団地）会長 辻 明治

当俱楽部は、2002年5月の創立で、平均年齢は72歳と、発展途上にある若い集団の老人クラブです。どうぞ、よろしくお願ひ致します。「遊」という称号は、一見、不謹慎に映りますが、昨今の高齢者は皆様お若く、老人という言葉に違和感をお持ちの様ですし、また、心身の健康管理、特に、心の健康には、心に余裕を齎す「遊び心が大切」との思いから、遊俱楽部と名付けた次第です。活動内容は、当会の特性上、アウトドア系が中心となりますが、行事回数も、お出かけ派が多いことから、拘束感のないよう、少な目に設定しております。が、近い将来に備え、好奇心を刺激するような屋内行事を模索しているところです。

※活動の概況

1. 広報活動

遊報（会報）の発行……毎月1回

副題に、Your Homeと付け、遊俱楽部は「貴方の家」という認識を共有しています。従って、各行事で集う際は、「礼節を尊び、互いを思い謂る纏まりある家族」の家作りに努めています。

2. 親睦・融和活動

ア. 月例会……月1回（10時～3時）

午前は、手作りの11種のゲーム機でポイントを競い、昼食後、パークゴルフを行ってその換算得点を加算し、年末に集計・表彰しています。冬季間は、ゲームのポイントのみとなります。また、午後は、麻雀・トランプ等を行っています。

イ. 新年会

1月例会の昼食懇談の時間を、新年会に移して開催しております。

ウ. 一泊旅行……年に一回

心の旅。その地の歴史・人々の思い、自然風土と景観に纏わる史実・伝説、美術館等、心の洗濯。何より、昔懐かしい一族の夕食会。最高！です。

3. 健康増進活動

ア. 春の歩こう会……観桜を兼ね大倉シャンツェ迄

イ. 秋の歩こう会……紅葉狩りを兼ねすずらん公園

ウ. パークゴルフ遠征大会……………年2回

エ. 心肺機能強化の「カラオケ大会」…………月2回

オ. 常盤パークゴルフ友の会の大会に参加…月2回

遊会員の8割が友の会々員という両軸の俱楽部。

4. ボランティア活動

ア. 年2回・団地内多目的広場の除草作業。

イ. 養護学校を慰問し遊び道具等を寄贈。

5. 地域共生活動

4月 子供を守る会の活動に参加しました。

8月 町内会主催の盆踊り大会に遊の冠を付けた15名が参加し、大会を盛り上げています。

“地域と共生する遊俱楽部”を目標に…



(月例会のポイント・ゲーム風景)

サンブライト寿楽会の近況

457区画のニュータウン、サンブライト真駒内は、周囲を優しい里山と豊かな緑に包まれた丘陵地帯で、その名のとおり太陽が燐燐と輝き降り注ぐ風光明媚な街です。団地の中央にはバスターミナルがあって交通は極めて至便です。

この文は、連町のホームページで、サンブライトの紹介の一部ですが、上記のとおり健康的で明るく活力に満ちたサンブライトは、老人クラブ「寿楽会」の活動にふさわしい街で、会員60名の明るい笑顔と活気があふれています。本年度は事業計画の他に新たに三項目の目標を掲げて取り組んでおります。

1. 新会員の加入奨励

本年6月下旬、65歳以上で寿楽会に未加入者104名に対して、加入勧奨状を配付し、後日役員と各班長がペアで対象者全世帯を訪問勧奨の結果、現在6名の加入申し込みがあって、更に年度内には10名程の加入が見込まれているところです。

2. 定例会議終了後の運用改善

毎月開催する定例会議後に約1時間、会員の親睦と教養を目的として、有益なビデオを鑑賞し感想など意見の交換と自由に思い出話や体験談などを語る時間として有効に活用しております。

3. 野外に出て楽しもう。

視野を拡げ健康維持のため、街や公園などを散策し風物を楽しみ、映画、音楽鑑賞などに積極的に参加することとした。第1回は6月、大通公園の花壇を散策し彫刻鑑賞を実施して、ホテルでの昼食会は楽しい談笑に包まれたところです。

◎寿楽会近年の栄光

1. 区老連輪投げ大会。平成15年優勝、平成16年、17年は準優勝、18年は？

2. 本年度連町大運動会。70才以上のパークリング、寿楽会員男子1位、女子2位の好成績でした。



▲子供クリスマス会の寿楽会コーラス部員



▲大通公園の散策

スポーツで いい汗 いい顔 いい仲間！

今年で12回目を数える「芸術の森地区大運動会」が8月27日石山東小学校グラウンドを会場に開催されました。

全連町を7チームに編成し役員・選手・応援団を含めて約500人のほか、市議の先生方、南区市民部長さんの応援も加わり、各種競技に心地よい汗を流しました。

今年も天候に恵まれ、各種目で熱戦が繰り広げられましたが、「運動会、いい汗 いい顔 いい仲間」のキャッチフレーズのもと、特に少年部・高齢者女性部の健闘が光った石山東チームが、昨年に引き続き総合優勝に輝きました。

例年になく今年は、参加者の半数近くが幼児・少年で占められたことが、特に心強く感じられました。

総合成績の上位チームはつぎのとおりです。

優 勝：石山東

準優勝：見晴・八区

3 位：滝真・サンブライト



ほっかほか！ おいしいね。 ゲーム楽しかったよ！

～もりの仲間の交流会～

(於：常盤児童会館)

去る9月9日(土)、好天の中、実施されました。今年で5回目、三世代交流の事業として定着してきた行事です。ジャガイモ・枝豆・とうもろこしを屋外でゆで、室内ではストラックアウトゲームやヨーヨーつまりを楽しみました。おじいちゃん・おばあちゃんとおしゃべりをしながら収穫を味わい、楽しい初秋のひと時をすごしました。グループホームのかたがたの参加も定着し、まさに地域が一体となった暖かい時間でした。「おいしいね」「畑でこんなに大きいのができるんだね」話がはずみました。

今年は、常盤児童会館の環境の変化もあり、残念ながら、ジャガイモを手で掘って収穫をする体験はありませんでしたが、枝豆のさやもぎをすることができました。子どもからは「ちくちくするけど楽しかった」「おもしろいね」の声しきり。0才から中学生の子供、パパ・ママも加わり250名の参加がありました。

世代間交流・地域交流の場として来年も期待されます。

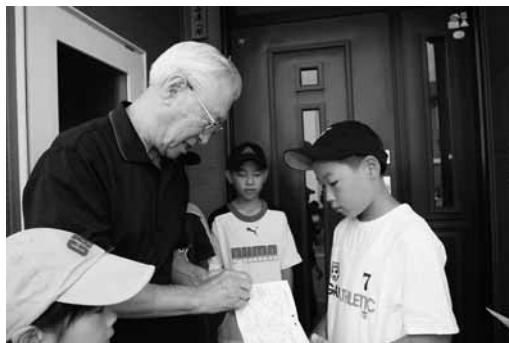


もりの仲間の子どもを見守るネットワーク**110番の家スタンプラリー****地域の皆様に支えられ大きな成果残す**

常盤小学校 教頭 古田 洋二郎

先日、「常盤団地町内会子供を見守る会」の会合に出席させていただきました。

常盤団地町内会では、藤田二三雄見守る会会長、鈴木久夫同副会長をはじめ、45の家庭が子供を見守る活動にご賛同いただき、「こども110番」のプレートを掲示してくださっております。「子供たちを守るために、何ができるのか」ということを、1時間半にわたり熱心に議論していただきました。心から感謝申し上げます。



～『広報さっぽろ9月号』から～

その会合では、今回初めて行われた『110番の家スタンプラリー』のことも話題になりました。「子供たちが万が一のとき

に助けを求める家のことを事前に知っておくことはとてもよいこと」と、今回の取組みを大いに評価してくださいました。また、子供の実際の参加の様子をお知りになりたいとのことでしたので、紙面をお借りして、本校児童のスタンプラリー参加の様子をご報告させていただきます。

本校には、404名の児童が在籍しておりますが、およそ8割の子供が実際にスタンプラリーに参加しております。参加した子供のおよそ4人に3人は、5ヶ所ともすべて回ることができました。参加した子供のおよそ6割は、「たくさんまわって、うれしかった」とのことです。「知らないところがわかって安心した」「やさしく対応してくれたのでうれしかった」「たくさん110番の家があったので驚いた」「顔や名前を覚えられてよかった」「来年も続けてほしい」というような嬉しい感想も多く聞かれます。

しかし、参加はしたが全部回りきれなかった子供のおよそ3人に1人が、「110番の家をあまり見つけられなかった」と残念がっておりました。

今後も、保護者や地域の皆様と協力し合い、常盤の子供を見守っていきたいと思います。ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

子供を見守る会 講演会、街頭パレードおよび 交通安全街頭啓発の実施

もりの仲間の子供を見守るネットワーク
芸術の森地区交通安全運動推進委員会

子供を犯罪と交通事故から守るために、もりの仲間の子供を見守るネットワークと芸術の森地区交通安全推進委員会が協力しあいながら行う行事を企画しました。この主旨に沿って講演会、街頭啓発およびパレードを次により実施いたします。

1. もりの仲間の子供を見守るネットワーク講演会

- (1) 日時：平成18年10月25日(水) 13時～14時30分
- (2) 場所：芸術の森地区会館
- (3) 講演の概要

C A P (子供を見守る運動を普及している団体)で行う講演は、子供が自分の心体を大切にして生きて行くことを中心としたプログラムです。

講演は、寸劇を交え、分りやすく解説してくれます。

2. 交通安全街頭啓発

- (1) 日時：平成18年10月25日(水) 14時30分～15時
- (2) 場所：芸術の森地区会館前 国道453号線
- (3) 交通安全啓発の内容

街頭で交通安全運動の呼びかけを行います。

3. 子供を見守る会及び交通安全街頭パレード

- (1) 日時：平成18年10月25日(水) 15時～15時30分
- (2) 場所：芸術の森地区会館前 国道453号線
- (3) パレードの実施

青少年育成委員交代のお知らせ

常盤スポーツ少年団から選出されていました遠藤貢さんにかわって松原義雄さんが育成委員に任命されました。

編 集 後 記

第5号に続き第6号も原稿が多く、編集担当としては喜ばしい限りです。前回の未掲載分を含めてページ数も予定の4ページから、予算のことも忘れ8ページへと2倍にしました。次回も引き続き多くのご応募を期待しております。

地区広報・芸術の森編集委員長 関口 明